

# 第10回 豊川水系流域委員会 【豊川水系河川整備計画の事業進捗状況】

(洪水、高潮等による災害の発生防止又は  
軽減に関する事項)

令和8年 1月30日

国土交通省 中部地方整備局

豊橋河川事務所

## 3. 河川の整備の実施に関する事項

### 3.1 河川整備の基本的な考え方

今回（第10回流域委員会）

- <3.1.1 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項>
- <3.1.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項>
- <3.1.3 河川環境の整備と保全に関する事項>

### 3.2 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

今回（第10回流域委員会）

- <3.2.1 霞堤対策>
- <3.2.2 河道改修及び河川環境の整備と保全>
- <3.2.3 内水対策>
- <3.2.4 耐震対策>
- <3.2.5 豊川流況総合改善事業> ※前回（第9回流域委員会）
- <3.2.6 設楽ダム建設> ※資料-5

### 3.3 河川の維持の目的、種類及び施行の場所

- <3.3.1 平常時の管理>
  - (1) 災害発生を防ぐための管理
  - (2) 低水管理
  - (3) 河川空間の適正な保全と利用
  - (4) 河川情報の収集及び提供
- <3.3.2 洪水時の管理>
  - (1) 洪水予報及び水防警報等
  - (2) 出水時巡視
  - (3) 河川管理施設の操作
  - (4) 警戒避難の支援
  - (5) 河川管理施設の災害復旧
- <3.3.3 渇水時の管理>
- <3.3.4 地震時の対応>
- <3.3.5 水質事故への対応>
  - (1) 資機材の準備
  - (2) 水質事故対策技術の習得
  - (3) 水質事故時の対応
- <3.3.6 河川情報システムの整備>

### 3.4 その他河川の整備を総合的に行うために必要な事項

- <3.4.1 調査研究等の推進>
- <3.4.2 河川情報の公開・提供の促進>
- <3.4.3 河川の協働管理>
- <3.4.4 防災意識の向上>

1. 河川整備計画の点検
2. 事業進捗率等
3. 霞堤対策の主な実施状況
4. 内水対策の主な実施状況
5. 事業進捗の見通し

# 1. 河川整備計画の点検

- ・ 河川整備計画の点検は流域委員会にて毎年実施予定
- ・ 事業評価の審議では全項目を点検報告  
(再評価5年毎、事後評価は完了後5年以内)
- ・ その他開催時は、現地視察、事業の進捗状況、トピックス等を報告

} ①  
} ②

河川整備計画の点検は、  
整備計画本文に記載の下記部分に基づき実施

豊川水系河川整備計画 平成13年11月  
(平成18年4月一部変更) P. 16

## 2. 河川整備計画の目標に関する事項 2.2 計画対象期間

本整備計画は、河川整備基本方針に基づいた河川整備の当面の目標であり、その対象期間は概ね30年とする。

なお、本計画は現時点の流域における社会経済状況、自然環境の状況、河道状況等を前提として策定したものであり、策定後のこれらの状況の変化や新たな知見、技術の進捗等により、必要に応じて適宜本計画の見直しを行うものである。

### 点検項目

1. 流域の社会情勢の変化 ①
  - ・ 土地利用の変化
  - ・ 人口・資産等の変化
  - ・ 近年の災害発生状況等
2. 地域の意向
  - ・ 地域の要望事項等
3. 事業の進捗状況 ②
  - ・ 事業完了箇所
  - ・ 事業中箇所の進捗状況等
4. 事業進捗の見通し
  - ・ 当面の段階的な整備の予定等
5. 河川整備に関する新たな視点
6. 河川整備計画の点検結果
  - ・ 点検結果のまとめ
  - ・ 今後の進め方

## 2. 事業進捗率等

＜豊川水系河川整備計画 第3章 第2節 第1項 霞堤対策/ 第3章 第2節 第2項 河道改修及び河川環境の整備と保全/ 第3章 第2節 第4項 耐震対策＞

### 事業の進捗状況(豊川)

- ・豊川では、昭和44年8月洪水を安全に流下させるため、上下流バランスを考慮した上で河道掘削等を重点的に進めてきた。
- ・低水路拡幅や樹木伐採は概成し、耐震対策や危機管理型ハード対策は実施済みである。
- ・令和5年度には、賀茂地区における霞堤対策(小堤)の工事に着手し、現在は全ての霞堤地区において関連工事に着手している。
- ・令和8年1月末現在、河川整備計画で計上された事業の進捗率は、事業費ベースで約54%となっている。(令和4年度は約46%)

#### 豊川水系河川整備計画に対する主な事業の進捗状況

整備項目	事業全体	令和7年度末完成(予定)	進捗率
低水路拡幅(河道掘削)	約50.2万m <sup>3</sup>	約38.9万m <sup>3</sup>	約77%
樹木伐採	約19.8万m <sup>2</sup>	約17.0万m <sup>2</sup>	約86%
旧堤撤去	約9.8万m <sup>3</sup>	約2.9万m <sup>3</sup>	約30%
堤防整備(築堤・堤防補強)	約6.5万m <sup>3</sup>	約6.0万m <sup>3</sup>	約92%
堤防整備(護岸)	約5.9km	—	0%
支川(神田川)	一式(掘削・築堤等)	—	0%
支川(朝倉川)	一式(築堤)	—	0%
霞堤対策(小堤)	3箇所	—	0%
耐震対策	約0.4km	約0.4km	100%
危機管理型ハード対策	約1.0km	約1.0km	100%

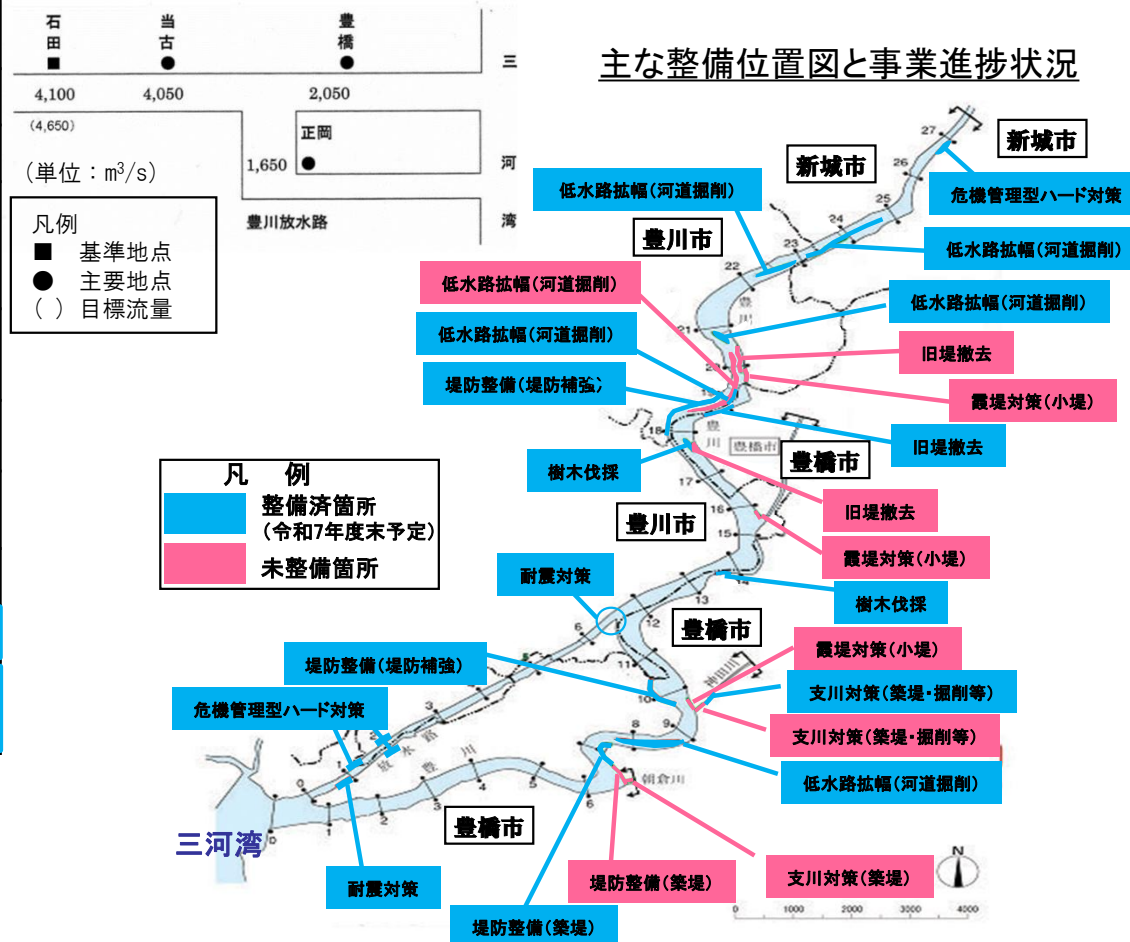
※令和7年11月末時点

#### 【事業概要】

- ・事業費 ... 339億円(税込)
- ・事業期間 ... 平成13年度～令和16年度

#### 河川整備計画において目標とする流量と河道整備流量

河川名	基準地点名	河川整備計画目標流量	洪水調節施設による洪水調節量	河道整備流量
豊川	石田	4,650m <sup>3</sup> /s	550m <sup>3</sup> /s	4,100m <sup>3</sup> /s





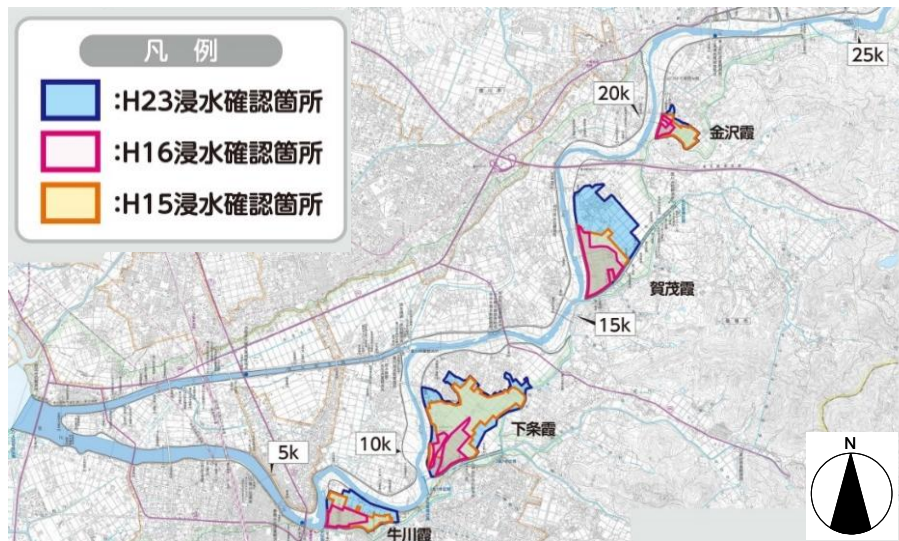
### 3. 霞堤対策の主な実施状況

＜豊川水系河川整備計画 第3章 第2節 第1項 霞堤対策/ 第3章 第3節 第2項 洪水時の管理/ 第3章 第3節 第6項 河川情報システムの整備＞

- 平成28年に豊橋河川事務所、愛知県、豊橋市、豊川市、豊川改修期成同盟会、豊川改修促進期成同盟会で構成された豊川霞堤地区浸水被害軽減対策協議会において「豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画」が策定され、霞堤対策を推進している。
- 本計画では、豊川霞堤地区における浸水被害の軽減を図るため、緊急的かつ効果的なソフト対策・ハード対策を示している。

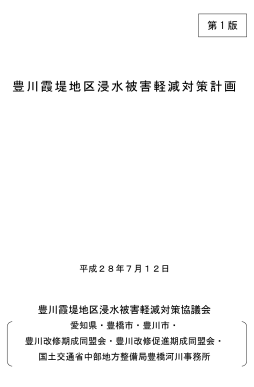
#### 霞堤の位置と近年の洪水における霞の浸水範囲

- 豊川は小坂井台地と牛川・豊橋段丘の間を蛇行して流れ、その途中には4箇所の「霞堤」と呼ばれる堤防が途切れている区間が現存し、近年も浸水被害が発生している。



#### 豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画

- 本計画は、霞堤地区において、小堤設置等のハード対策により浸水頻度・浸水面積・浸水時間等を軽減させると共に、霞堤地区内の浸水状況等の情報提供のソフト対策により浸水被害軽減を図ることを目標としている。
- ソフト対策・ハード対策の実施にあたっては、関係する行政機関や地域住民が一体となって、推進していく。



#### 具体的な取組(ハードおよびソフト対策)

##### ハード対策

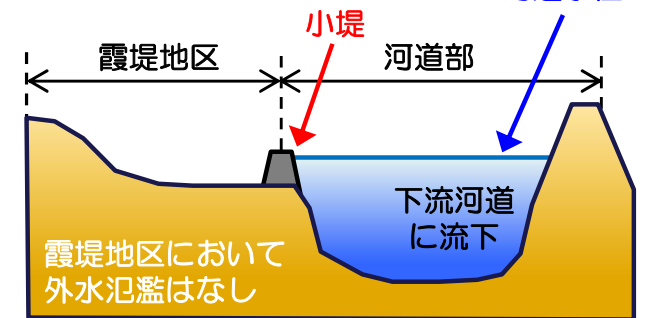
- 各霞堤地区の開口部に小堤を設置。
- 河川整備計画完了時には、霞堤地区に多大な被害をもたらした平成23年9月洪水(平成第1位)が再来しても、浸水被害を防ぐことが可能となる。

##### ソフト対策

- 霞堤地区内の浸水状況等の情報提供のソフト対策により浸水被害の軽減を図ることを目標としている。

H23.9洪水(平成第1位)  
より小さな洪水流下時

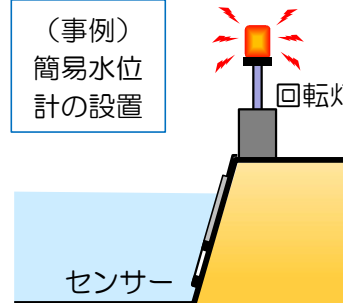
H23.9洪水  
河道水位



(事例) 霞堤地区に着目したポータルサイトの作成



(事例)  
簡易水位  
計の設置

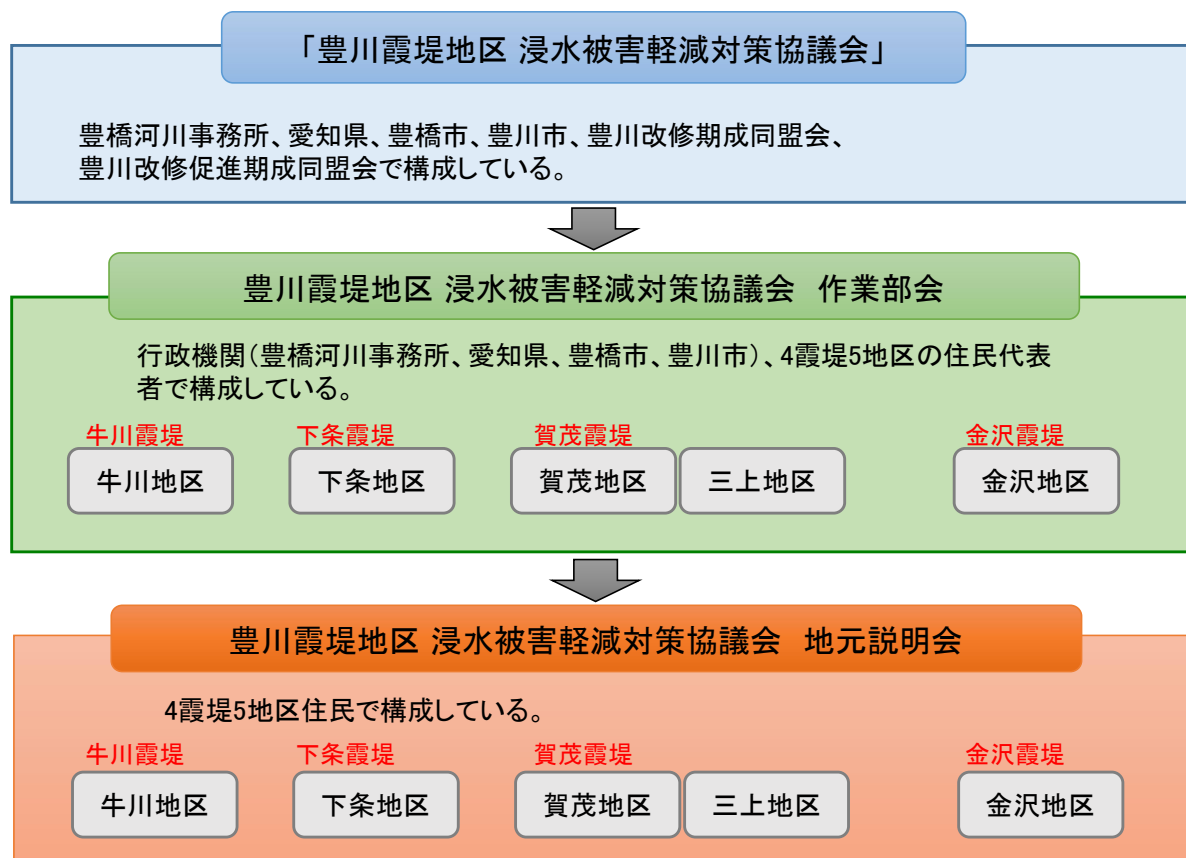


### 3. 霞堤対策の主な実施状況

＜豊川水系河川整備計画 第3章 第2節 第1項 霞堤対策＞

- 「豊川霞堤地区浸水被害軽減対策計画」を推進するための体制として、「豊川霞堤地区浸水被害軽減対策協議会」、「同作業部会」、「同地元説明会」の3つの会議体が設置され、年1回開催し、取組の進捗報告と意見交換を行っている。
- 「作業部会」、「地元説明会」は、4霞堤地区を豊橋市、豊川市に分け5地区で開催している。
- 豊橋市: 牛川地区(牛川霞堤)、下条地区(下条霞堤)、賀茂地区(賀茂霞堤)
- 豊川市: 三上地区(賀茂霞堤)、金沢地区(金沢霞堤)

#### 協議会の体制イメージ



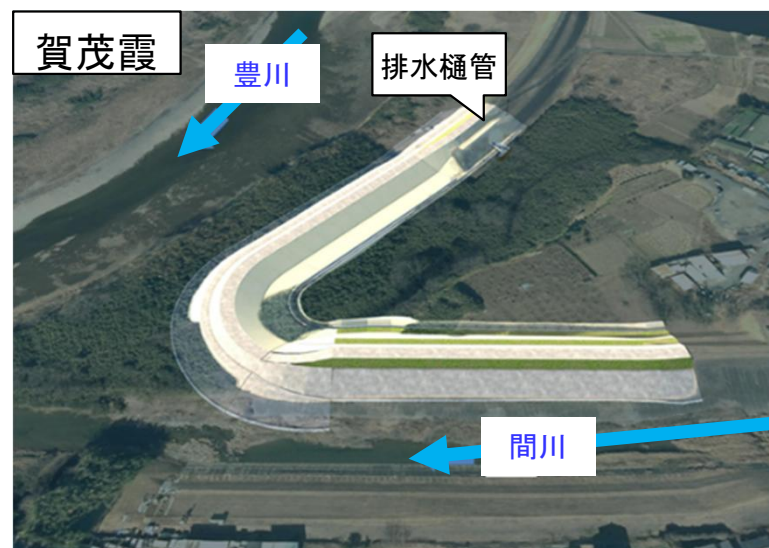
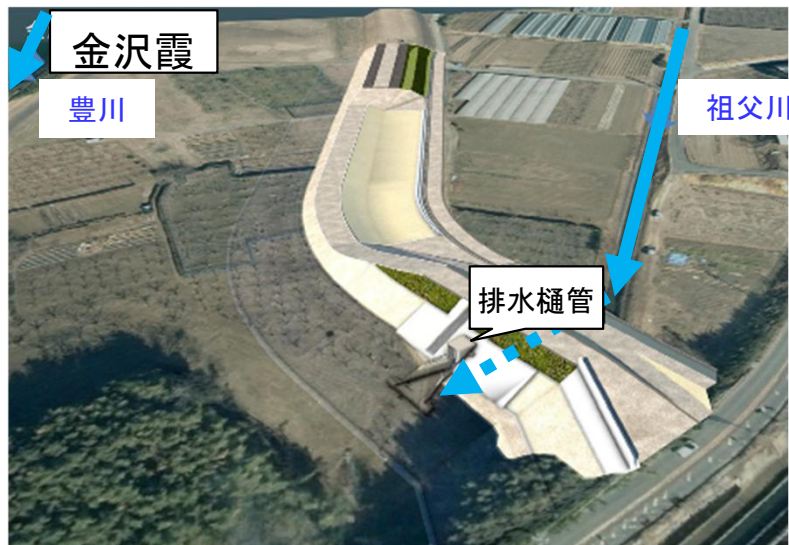


### 3. 霞堤対策の主な実施状況(ハード対策)

＜豊川水系河川整備計画 第3章 第2節 第1項 霞堤対策＞

- 金沢霞においては、令和5年度より工事用道路の整備に着手。現在は樋管工事に着手し、樹木伐採を行っている。
- 賀茂霞においては、令和5年度より樋管工事に着手し、令和6年度に樋管の躯体部分が完成した。

霞堤対策(完成イメージ図)



霞堤対策(工事実施状況)





### 3. 霞堤対策の主な実施状況(ハード対策)

＜豊川水系河川整備計画 第3章 第2節 第1項 霞堤対策/ 第3章 第2節 第2項 河道改修及び河川環境の整備と保全＞

- 下条霞においては、令和6年度より支川神田川の付替に伴う護岸整備に着手している。
- 牛川霞においては、令和7年度に工事用道路の整備に着手している。

霞堤対策(完成イメージ図)



霞堤対策(工事実施状況)





### 3. 霞堤対策の主な実施状況(コスト削減・カーボンニュートラルの取り組み)

＜豊川水系河川整備計画 第3章 第2節 第1項 霞堤対策/ 第3章 第2節 第2項 河道改修及び河川環境の整備と保全＞

- 施工に必要な範囲内に繁茂している樹木を伐採する際には、伐採木処分等に多額の費用を要している。
- 工事で発生する伐採木については、処分費のコスト削減及び伐採木等資源の有効活用の目的から、地域の方々に伐採木の無償提供を実施している。
- 令和7年は、12名の方々に合計約8tの伐採木の提供を実施した(令和7年12月時点)。
- 令和8年1月から2月頃にかけても、引き続き取り組んでいく。

#### 令和5年度以降における伐採木の無償配布の状況

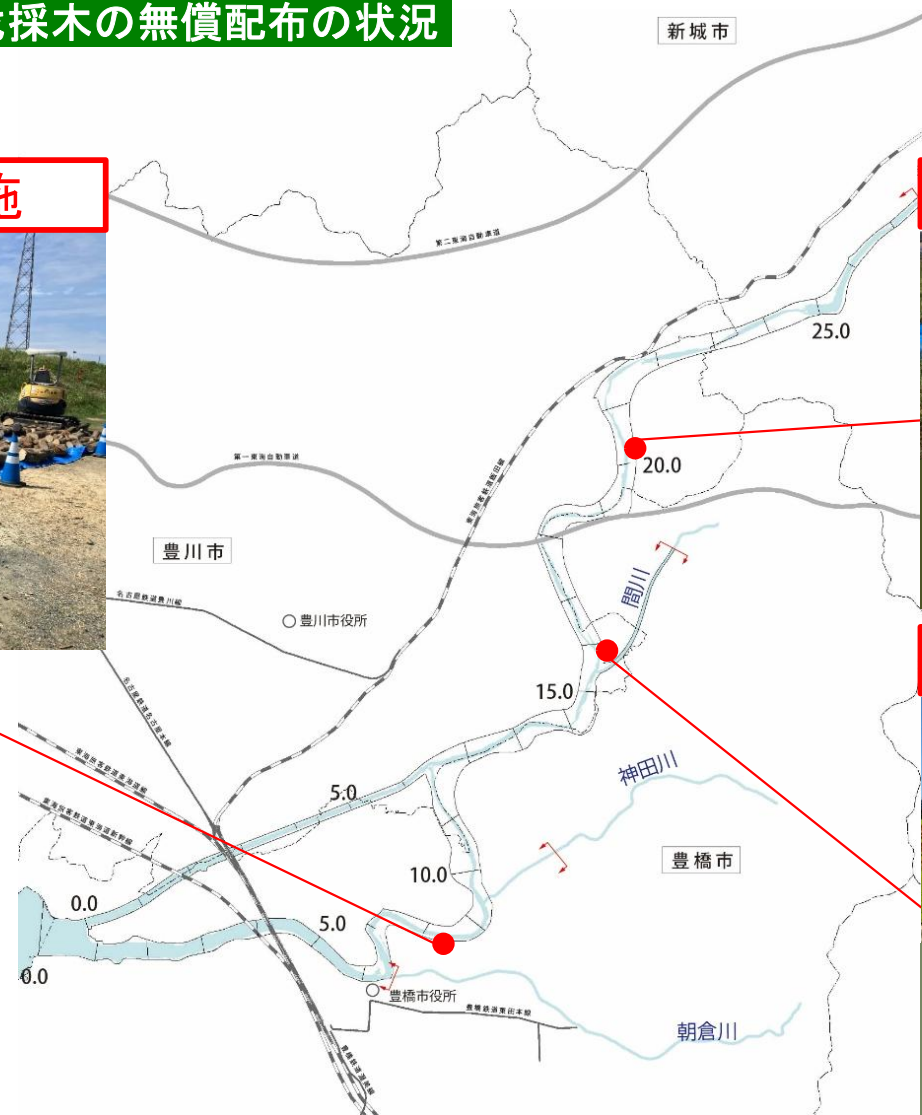
令和7年度に実施



令和7年度に実施



令和5年度に実施





### 3. 霞堤対策の主な実施状況(ソフト対策(国))

＜豊川水系河川整備計画 第3章 第2節 第1項 霞堤対策/ 第3章 第3節 第2項 洪水時の管理/ 第3章 第3節 第6項 河川情報システムの整備＞

- ソフト対策として、CCTVカメラや簡易水位計等の設置をしている。
- 賀茂地区においては、令和6年度に「賀茂霞付近」のカメラの向きを、豊川から霞堤地区側に変更。また、「権現山」のカメラの向きについて、豊川と霞堤地区両方が映る画角に変更。

#### ソフト対策(CCTVカメラや簡易水位計等の設置)



賀茂・三上霞堤地区のカメラ・簡易水位計等の整備位置図

出典: 淡色地図(国土地理院)を加工して作成



- ソフト対策として、雨天時にメールの配信やポータルサイトによる情報提供を実施している。
- 新規に設置された水位計・カメラの情報をポータルサイトに追加し、「まとめて見る」で表示したい水位計・カメラの切り替えができるように改良している。
- カメラの増設に伴い、位置及び向きを整理したカメラマップを令和6年度に追加している。

## 牛川霞堤地区 防災情報ポータル

### 雨量の分布、川の水位、ライブカメラ画像をまとめて見る

4つの画面で、雨量、川の水位、ライブカメラ画像を同時に  
見ることが出来ます。

○ まとめて見る

### 雨量分布を見る

○ 豊橋市、豊川市付近の雨量  
分布と水位状況を見る

### 霞堤地区に関係する河川の

- ① 豊川の石田地点の水位状況を見る
- ② 霞堤地区内の簡易水位計の水位を見る
- ③ 霞堤地区内での他の水位計の水位を見る
- ④ 豊川の霞堤地区周辺の水位を見る
- ⑤ 宇連ダムの放流状況を見る
- ⑥ 豊川河口の潮位状況を見る

### カメラ

現在の川の画像が1  
更新されます。

- 霞堤地区内の様子①
- 霞堤地区内の様子②
- 霞堤地区河口部の様子
- 霞堤地区近くの豊川の様子
- 牛川霞堤地区周辺の他の地点も見たい

### 過去の洪水の様子を知る

過去の洪水時に浸水したおおよその範囲を確認できます。

○ 近年の洪水の最大浸水範囲  
(H15洪水・H16洪水・H23  
洪水)

浸水シミュレーションによる主な洪水規模の浸水範囲  
(堤防決壊しない場合)を確認できます。

- S44洪水規模による浸水範囲の時間変化
- H23洪水規模による浸水範囲の時間変化

新規水位計のURLを追加  
(※牛川地区のみ)

### 子を知る

シミュレーションによる洪水浸水想定区域  
を確認できます。

- 150年に1度の規模の降雨による洪水浸水想定区域
- 想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域

新規カメラのURLを  
追加

浸水想定区域は、堤防決壊する場合の複数のシ  
ミュレーション結果を重ね合わせて作成したもので

### 霞堤地区内で建築などをお考えの皆様へ

霞堤地区における建築物の浸水対策の工夫について  
○ 霞堤地区内で建築などをお考えの皆様へ (牛川)

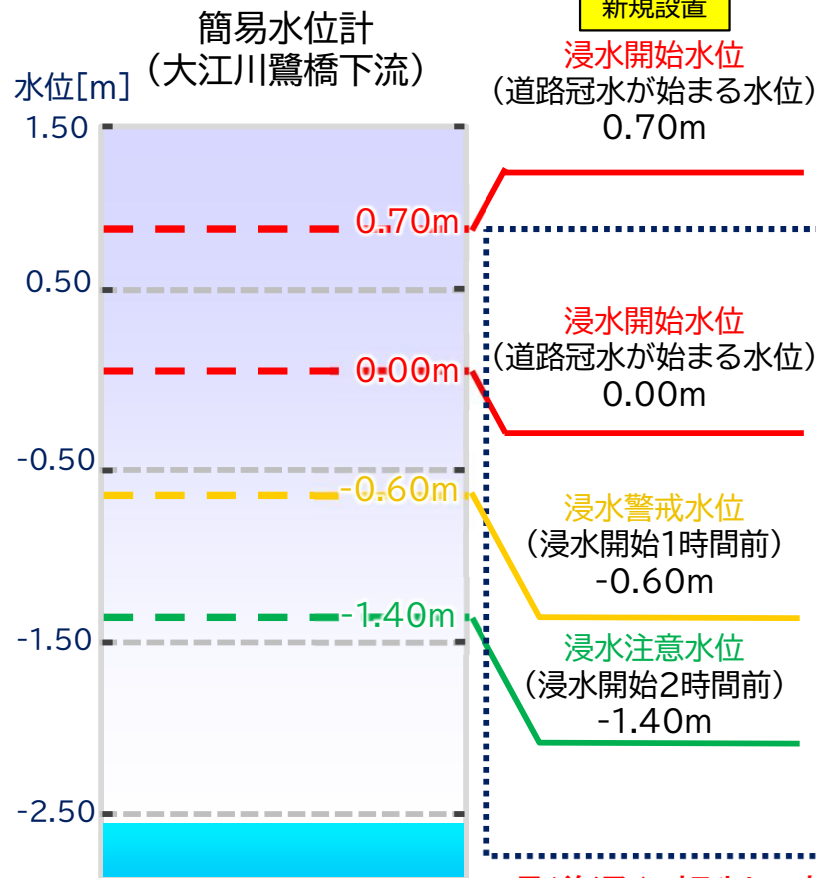


### 3. 霞堤対策の主な実施状況(ソフト対策(関係機関))

＜豊川水系河川整備計画 第3章 第2節 第1項 霞堤対策/ 第3章 第3節 第2項 洪水時の管理/ 第3章 第3節 第6項 河川情報システムの整備＞

- ソフト対策として、関係機関により浸水案内看板等を設置し、通行規制の基準を設けて道路の通行止めを実施している。
- 下条地区においては、令和6年度に大雨による浸水が予想される場合は通行止め区間を追加し、通行止めの基準となる水位を新たに設置し、更なる対策を推進している(愛知県東三河建設事務所、豊橋市)。

#### ソフト対策(浸水案内看板等の設置)



簡易水位計(大江川鷺橋下流)の水位が、

- ・ 0.00mを超えると、(主)県道豊橋乗本線の下野橋南側交差点～下条東町交差点区間、および(一)県道中条豊橋線の下条小大道交差点～鷺橋北交差点の冠水が始まる可能性が高まります。
- ・ 0.70mを超えると、(主)県道豊橋乗本線の下野橋南側交差点～当古橋東交差点区間、および(一)県道中条豊橋線の下条橋西交差点～鷺橋北交差点の冠水が始まる可能性が高まります。



県道通行規制の基準水位と回転灯の点灯基準水位は同じ

※浸水注意水位は浸水開始2時間前相当、浸水警戒水位は浸水開始1時間前相当を示す。

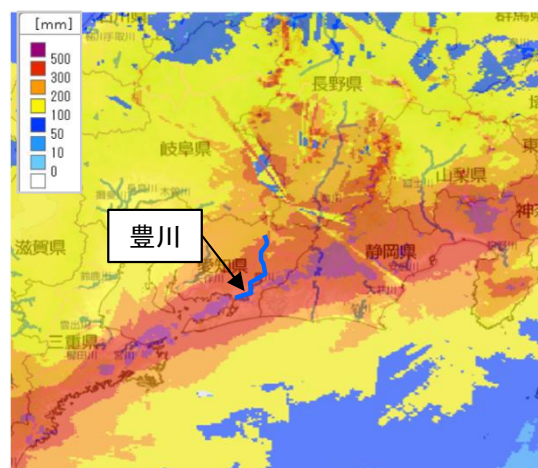


## 4. 内水対策の主な実施状況(直轄管理区間での対応)

＜豊川水系河川整備計画 第3章 第2節 第3項 内水対策/ 第3章 第3節 第2項 洪水時の管理＞

- 「令和5年6月の台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨」により、豊川水系の流域において、線状降水帯が発生する等、激しい雨が長時間降り続いた。
- 豊川放水路にある小坂井排水機場では、内水被害について速やかな浸水解消のため、排水機場からの排水に加え排水ポンプ車を配備し、排水を実施した。(豊川放水路からの越水は無し)

### 排水機場・排水ポンプ車の稼働(小坂井排水機場)



令和5年6月1日10:00～  
6月3日10:00までの  
累加雨量

出典: 川の防災情報ホームページ  
を加工して作成



小坂井排水機場



豊川水系豊川放水路左岸3.0k

排水ポンプ車

排水ポンプ車

小坂井樋門

小坂井排水機場樋門

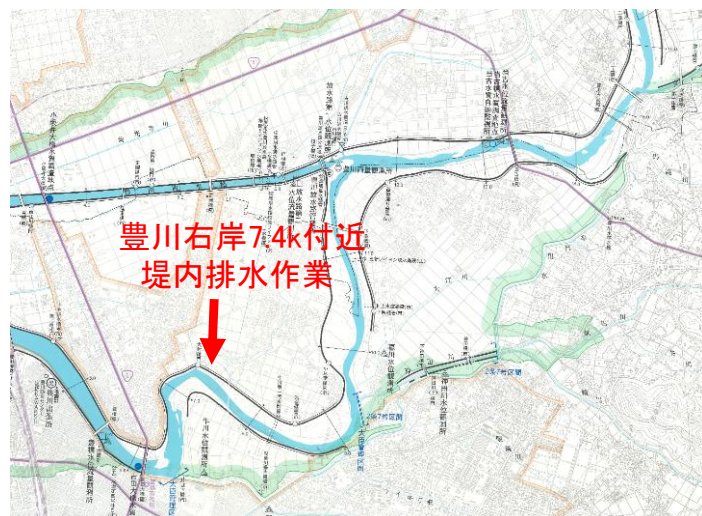


## 4. 内水対策の主な実施状況(自治体への支援)

＜豊川水系河川整備計画 第3章 第2節 第3項 内水対策＞

- 「令和5年6月の台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨」により、豊川水系の流域において、線状降水帯が発生する等、激しい雨が長時間降り続いた。
- 豊橋市(大村地区)より排水支援の要請があったため、豊橋河川事務所が配備している排水ポンプ車を派遣。
- 30m<sup>3</sup>/minの排水ポンプ車1台及び照明車1台で夜間に排水を実施し、浸水被害の軽減に努めた。

### 排水ポンプ車の稼働(豊橋市の排水支援)



支援内容：排水ポンプ車 1台  
照明車 1台



配置場所	派遣ポンプ車	規格	排水開始	排水完了
豊川右岸7.4k付近	排水ポンプ車 (豊橋)	30m <sup>3</sup> /min	2023/6/2 19:25	2023/6/3 3:30

豊川右岸7.4k付近での排水時間

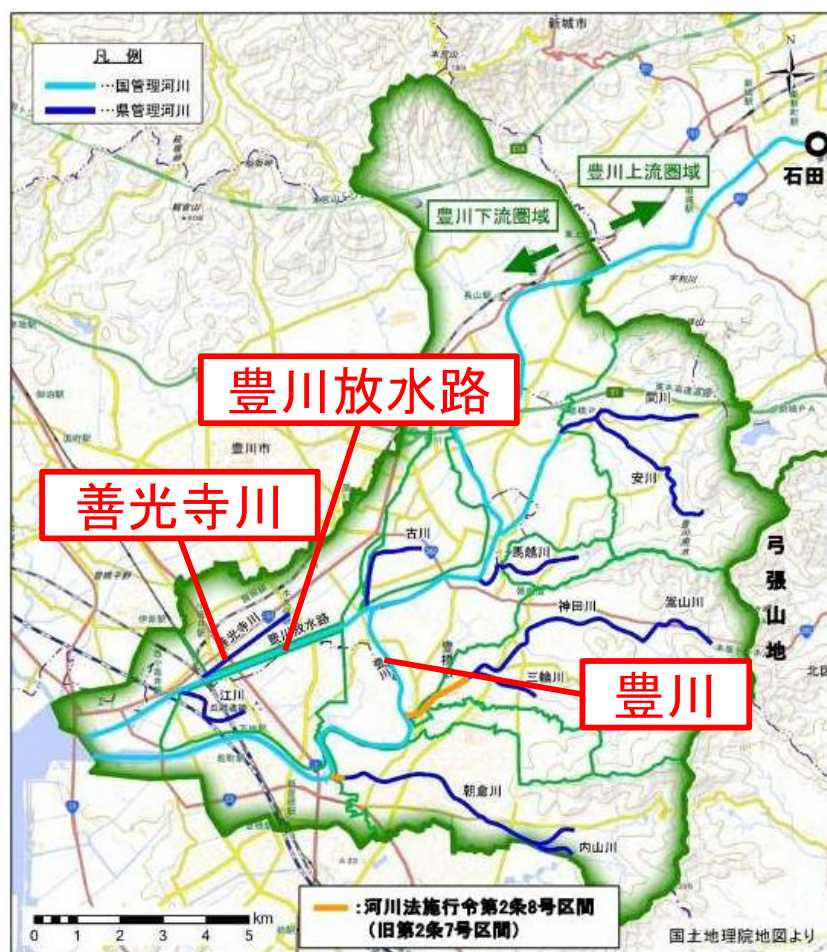


## 4. 内水対策の主な実施状況(関係機関の取り組み)

＜豊川水系河川整備計画 第3章 第2節 第3項 内水対策＞

- 令和5年6月洪水においては、内水河川である善光寺川及び古川沿川において農地湛水の他、家屋浸水被害等が発生した。
- 緩流河川、特に善光寺川においては、豊川及び豊川放水路の増水時は下流端の樋門が閉扉され、ポンプで排水する内水河川のため、浸水(農地・道路冠水)が頻発している。
- 令和5年6月2日からの大雨を踏まえ、愛知県では「一級河川 豊川水系 豊川下流圏域 河川整備計画」を令和7年4月25日に策定。
- 善光寺川の河道計画においては、従来の検討より河道改修区間の延伸や調節池の容量を増加する見直しを実施し、浸水被害軽減及び浸水継続時間の軽減を図っている。

### 豊川下流圏域の概要



豊川下流圏域図

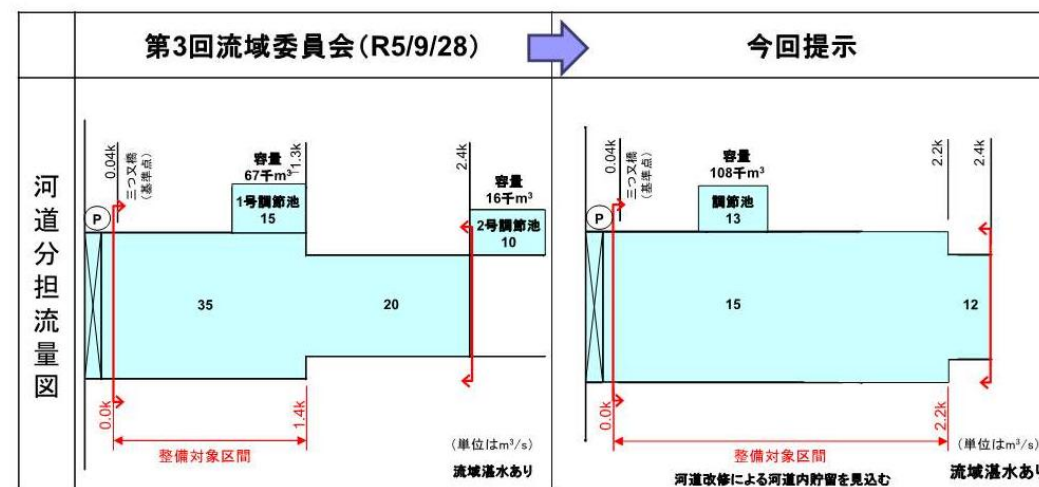
### 善光寺川の河道計画の見直し状況

#### 3. 善光寺川の河道計画見直しについて

##### ■ 主な変更点

##### ■ 整備内容の変更点

- ・ 河道改修区間の延伸 (0k～1.4k⇒0k～2.2k) ※整備断面の変更なし
- ・ 1号調節池の諸元変更 (容量増)
- ・ 2号調節池の廃止 ⇒ 河道改修区間延伸により河道内貯留に置き換え



36

出典: 愛知県河川整備計画流域委員会 (<https://aichi-river.jp/>)

## 5. 事業進捗の見通し

＜豊川水系河川整備計画 第3章 第2節 第1項 霞堤対策/ 第3章 第2節 第2項 河道改修及び河川環境の整備と保全＞

- 豊川における当面（概ね5年：令和7年度～令和11年度）の整備は、豊川本川と支川の霞堤対策を予定している。
- 引き続き地元や関係機関と調整を行い、実施していく。

### 豊川における当面の段階的な整備の予定

#### 当面の段階的な整備の内容（予定）

※令和8年1月末時点

目的	整備項目	整備箇所
浸水被害軽減対策・背水対策	堤防整備	①牛川地区
	霞堤対策（小堤）	②下条地区 ③賀茂・三上地区 ④金沢地区
	支川対策（築堤・掘削等）	⑤朝倉川 ⑥神田川

#### 霞堤対策（ハード対策）・河道改修及び河川環境の整備と保全の今後のスケジュール（予定）

※令和8年1月末時点

	短期 ～令和7年度	中期 ～令和11年度	中長期 ～令和16年度
用地補償・設計等	→		
樋管・工事用道路等	→	賀茂・三上地区	牛川・下条・金沢地区
築堤・小堤		→	→
支川対策		→	→ 牛川地区 → 下条地区
旧堤撤去等			→
河道掘削・樹木伐採等	→	→	→

#### 当面の段階的な整備箇所（予定）

